

事業№	事業名	県民公園新港の森管理費負担金				担当部署	部名	都市整備部		
		(公園維持管理費)					課名	都市計画課		
127							電話	52-7390		
事業期間		開始年度	昭和 58 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計		
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	土木費		
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					項	都市計画費		
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進					目	公園費		
	実施計画掲載	無		個別計画						
根拠法令・要綱等		県民公園新港の森管理運営協議会規約								
事業目的	対象	富山県知事								
	意図	県民公園新港の森は、伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止するため緩衝緑地として地域住民に憩いの場を提供するために設置され、併せて野球場及び遊歩道など様々な施設があり、公園利用者から憩いの空間としても親しまれていることから、適正な維持管理を図ることを目的としている。								
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動								
		植物管理(樹木剪定、防除、芝刈り、除草等)、園内・トイレ・駐車場等清掃、公園施設点検管理等適宜								
補助金事業	類型区分	団体運営費補助		事業費補助		○ 施設等整備費補助		政策的補助		
		格差是正補助		利子補給		その他 ()				
	補助内容	補助区分		算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		定額補助								
		○ 定率補助		富山県で精算した額の12.5%						
その他										
施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数						指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									
施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度				
その他	特記事項等									

事業 №	127	事務 事業名	県民公園新港の森管理費負担金	担当課	都市計画課
---------	-----	-----------	----------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 維持管理	m ²	96,991	96,991	96,991	100.0	96,991
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	4,660 千円	5,746 千円	23.3	5,592 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	2,277 千円	2,244 千円	▲ 1.4	2,244 千円
	退職手当引当金相当額	330 千円	314 千円	▲ 5.0	314 千円
	事業コスト計	7,267 千円	8,304 千円	14.3	8,150 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	7,267 千円	8,304 千円	14.3	8,150 千円
	正 規 職 員	0.33 人	0.33 人	0.0	0.33 人
利用者 1 人 当 たり コ ス ト		—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止するための緩衝緑地として良好な住環境を形成することに寄与しており、併せて公園利用者のための安全で快適な環境の確保の向上など、安全で安心して利用できる公園の維持管理は、極めて重要で必要不可欠なことである。
有 効 性	4	公害を防止するための緩衝緑地として良好な住環境を形成することに寄与していることから住環境の向上が図られ、併せて公園利用者の安全で快適な公園環境を確保することができる。
効 率 性	4	各分野において精通しかつ有資格者が在籍している業者に委託していることから、有効的かつ効率的な維持管理が図られている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
引き続き、伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止し、地域住民に憩いの場を提供していくためにも、より一層、良好な住環境を形成することに寄与していくとともに、公園利用者の安全で快適な環境の確保の向上など、安全で安心して利用できる公園の適正な維持管理に努めていきたい。					

事業№	事業名	内川浄化施設管理費				担当部署	部名	都市整備部
							課名	道路・河川管理課
133							電話	52-7394
事業期間		開始年度	昭和 55 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	土木費
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					項	海岸河川費
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進					目	海岸河川総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等		河川法						

事業目的	対象	誰を・何を	内川周辺の地域住民及び内川を訪れる観光客
	意図	どのような状態に	川の流れを復元することにより、内川流域全体の水質改善を図り、快適な生活環境を確保する。
事業内容	手段	どのような方法で	・庄川から毎秒2トンの水量を内川に導水する。 ・庄川から毎秒2トンの水量を内川に流入する河川に導水する。

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
	構造・階数					指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間		
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況		
	設備・規模						民間施設状況

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	133	事務 事業名	内川浄化施設管理費	担当課	道路・河川管理課
---------	-----	-----------	-----------	-----	----------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 内川水質調査 (BOD)	mg/l	2.1	2.1	2.1	100.0	2.1
	③						
活動指標	① 庄川からの内川への流入量	m3/s	2	2	2	100.0	2
	②						
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	6,782 千円	4,324 千円	▲ 36.2	6,935 千円
	正規職員人件費相当額	1,173 千円	1,156 千円	▲ 1.4	1,156 千円
	退職手当引当金相当額	170 千円	162 千円	▲ 5.0	162 千円
	事業コスト計	8,125 千円	5,642 千円	▲ 30.6	8,253 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	4,645 千円	2,255 千円	▲ 51.5	4,600 千円
事業費・人件費	その他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	3,480 千円	3,387 千円	▲ 2.7	3,653 千円
	当 該 事 務	正規職員	0.17 人	0.0	0.17 人
	従 事 職 員 数	臨時職員	人		人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	内川の水質汚濁が進み、特に夏期には悪臭が漂う状況にあることから、浄化施設の運転は快適な生活環境を保持していくためにも必要不可欠である。
有効性	3	快適な河川環境を確保することができる。
達成度	3	水質調査では、改善目標の5mg/lを例年下回っており、周辺住民の方々からの苦情がなくなったことから、効果は十分発揮している。
効率性	4	施設点検を業者委託するなど、有効的かつ効率的に管理している。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
引き続き、事業の継続により快適な生活環境の保持に努める。					